

もくぞうあみだによらいざぞう
58. 木造阿弥陀如来坐像

■ 指定日

平成2年12月12日

■ 種別

有形文化財 彫刻

■ 年代

平安時代後期

■ 所在地

朝来市和田山町枚田

■ 所有者

赤湊神社



■ 内容

赤湊神社神社の神宮寺であった、旧神淵寺に安置されていたものである。

桧の一本造り、漆箔像で、来迎相を示す手印を結ぶ。螺髪は彫出。頬の張った丸顔で、目はやや伏目がち、鼻・口唇は小ぶりだと引き締まっており、頭部の各部分のみごとな調和を見せている。なで肩で、膝の褶を表す彫刻は、流れるように華麗である。彫刻の技法作風からみて、平安時代後期の作品と推定される。